

第2学年 道徳科学習指導案

日時 平成29年11月 2日(木) 3校時
児童 2年1組 男14名 女9名 計23名
授業者 鈴木 綾
特別支援 鈴木 正彦

- 1 主題名 友達っていいな【B 友情、信頼】
- 2 教材名 「モムンとヘーテ」(「ゆたかなこころ 新しい道徳2」光文書院)
- 3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

新学習指導要領第1学年及び第2学年の内容の「B 主として人との関わりに関すること」の「友情、信頼」は「友達と仲よくし、助け合うこと」である。これは、友達関係における基本とすべきことであり、友達との間に信頼と切磋琢磨の精神をもつことに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。

| | | | |
|------------------------|------------------------------|---|---|
| 低学年 友達と仲よくし、助け合うこと。 | 中学年 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。 | 高学年 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。 | 中学校 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。 |
|------------------------|------------------------------|---|---|

低学年においては、児童の日常生活と道徳科での学習を分かりやすく関連付けることが必要である。児童は友達と一緒に過ごす中で、けんかをしたり助け合ったりと様々な経験をしている。また、学級においては、班や係、当番などのグループ活動に取り組んでいたり、全員での遊びを行ったりすることも多い。これらの経験を授業の導入や終末で扱ったり、展開で自らの経験を基に考えさせたりすることで、仲よくすることや助け合うことのすばらしさを共有させたい。そして、児童が本来もっている仲よくしたいという思いをより強いものにしていくことが大切であると考えられる。

(2) 児童について

児童はみな、友達と仲よくしたいと思っている。しかし、まだ自己中心的な傾向が強いために、相手の気持ちを考えることなく自分の気持ちを優先してしまい、けんかになる場面が多い。

学級で行っている「道徳ポスト」には、「友達とけんかをしました。友だちをなくしてしまったらどうしましょう。でも私は、友だちをなくしたくはありません。」「友達とけんかをしました。どうしてもゆるせません。どうしたらいいですか。」「どうしても、あやまれません。」という、仲がよかった友達とけんかをしてしまったことへの不安、修復するためにどうすればいいのか、また修復できる

のかという不安を感じている投書が多くあった。

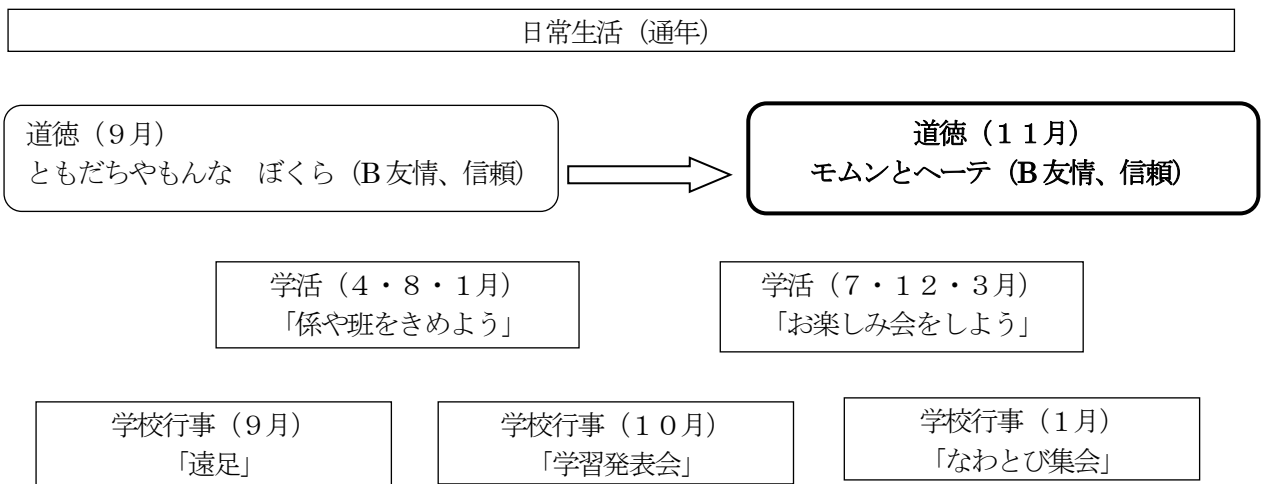
このような実態から、友達同士は時にはけんかをして、お互いに相手を大切に思ったり、助け合ったりすることで、さらに友情が深まっていくことに気付かせ、自分もそういう友達関係を築こうとする心情を育てたいと考える。

(3) 教材について

本教材は、森のこびとモムンとヘーテが、力を合わせて取り出したくりの実をめぐって関係が悪化するが、大雨という危険な状況の中に相手を思い合うことで関係が改善し、さらに友情が深まっていくという内容になっている。

友達の質的変容や相互の関係性を見通すことができる、低学年にも分かりやすい教材である。最後のモムンとヘーテの友達としての高まりに共感し、友達と仲よくするには何が大切かを考えることを通し、自分もそうありたいという心情を高めることができる教材であると考えられる。

4 主な各教科等との関連



5 本時の指導

(1) ねらい

モムンとヘーテの友達としての高まりに共感させ、自分達をもっと友達と仲よしになるには、何が大切かを考えることを通して、けんかをして友達はお互いを大切に思ったり、助け合ったりすることでさらに友情が深まるということに気付かせ、自分もそのような友達でありたいという心情を育てる。

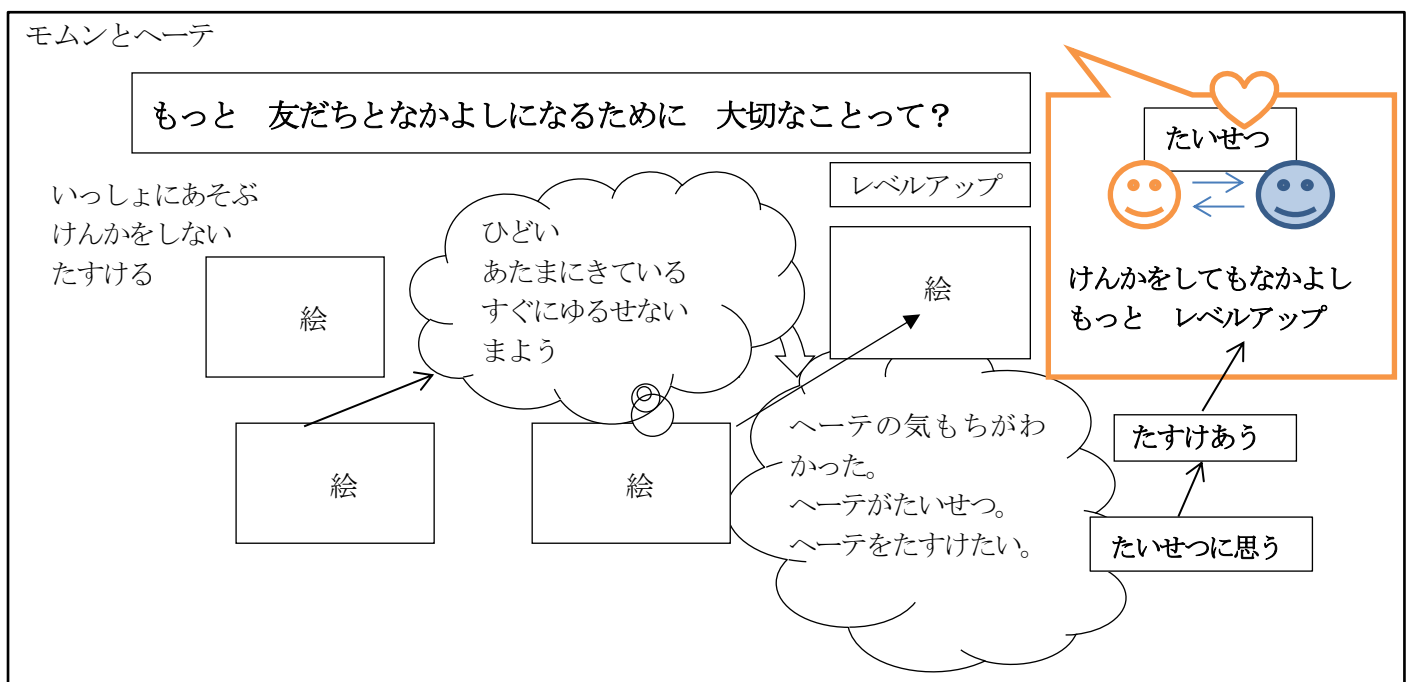
(2) 展開

| 階 | 学習活動と主な発問 | 予想される児童の反応 | 指導上の留意点 |
|--------|-------------------------|--|---------|
| 導入 | 1 教材や価値への関心を高め、課題意識をもつ。 | | |
| 2 分 | ・友達と仲よくするには、どうしたらいいかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・けんかをしない。 ・一緒に遊ぶ。 ・助けてあげる。 | |

| | | | |
|---------------------------------|---|--|---|
| 展 開 前 段 35 分 | <p>2 教材を基に話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もっとなかよしになるために、大切なことって？</p> </div> <p>○モムンとヘーテは、仲よしか な。</p> <p>○黙っているモムンは、どんなこ とを考えているのかな。</p> <p>○けんかの前の2人と、けんかの 後の2人の心の顔は同じかな。</p> <p>◎もっと、友達と仲よしになるた めに、大切なことは何だろう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【効果的な中心発問の設定】 ○価値を問う (テーマ発問)</p> </div> | <p>・仲よし。 ・最初は、そうでもないけれど 後から仲よしになった。</p> <p>・ひどいことをされたから許せ ない。 ・許すかどうか迷うなあ。 ・許したいけど、まだ許せない 気持ちもある。 ・このままじゃ、危ない。 ・「きみは、にげたほうがいい よ。」と言われて、許そうと 決めた。 ・ヘーテが自分を大切に思っ ていることがわかった。 ・やっぱり、ぼくもヘーテが大 切だ。 ・ぼくもヘーテが大好きだ。 ・友達だから助けたい。</p> <p>・けんかの後の方が、前よりも もっとにこにこ顔。 ・助け合ったから、もっと仲よ しになった。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【話合いの工夫】 ○学習形態 ・隣同士や班 (3人組) ○学習の進め方 ・考えを言い合う。</p> </div> <p>・けんかをして、相手の気持 ちを考える。 ・相手を大切にする。 ・友達と助け合う。</p> | <p>・「ごめんね。」と言われても すぐに許せない気持ちも あることをおさえる。</p> <p>・ヘーテのモムンを思う気持 ちをおさえる。 ・モムンの「いっしょににげ よう。」という言葉をおさ える。</p> <p>・普通の仲よしから、お互い を大切に思い助け合う仲 よしになったことを確認 する。</p> <p>・自分で考える時間を持った 後、班で話し合わせる。 ・友達の話には、うなずくな どの反応をしっかりとさ せる。 ・班での話合いの後、班から 出た考えをもとに、全体で 話し合う。</p> |
| | <p>評価の方法 話合いの観察、発言 評価の視点 モムンとヘーテの友達としての高まりに共感し、お互いを大切に思ったり、 助け合ったりすることで友情が深まることに気付くことができたか。</p> | | |

| | | | |
|---|--|---|--|
| | ○もっと仲よしになった2人は、この後どんな会話をするのかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「昨日のこと、本当にごめんね、モムン。」 ・「もういいんだ。これからは、助け合っていこう。」 ・「これからも、きみは大切な友達だよ。」 | <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技で会話をさせる。(最初は、教師対児童。次は、児童対児童。) ・インタビューをする。 |
| 展開後段 5分 | <p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○今日の学習で分かったことや、これからこうしたいなと思ったことを書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【自己を見つめる発問の設定】</p> <p>○具体的な価値(内容項目)を入れないで問う発問</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・けんかをして、仲直りをしながら、仲よしレベルが上がっていくようにしたいな。 ・けんかをして、もっと仲よくなっていく友達はいいな。 ・お互いを大切に思って、助け合う。そんな友達になりたいな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今日学んだことを振り返らせ、うみねこノートに書かせる。 |
| <p>評価の方法 うみねこノートの記述</p> <p>評価の視点 時にはけんかをして、友達はお互いを大切に思ったり、助け合ったりすることで、さらに友情が深まるということを知り、自分もそのような友達でありたいと考えることができたか。</p> | | | |
| 終末 3分 | <p>4 今後の実践につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを交流する。 ・道徳ポストから、一通の手紙を紹介する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の振り返りを聞くことにより理解を深める。 ・けんかをして、友達は失いたくないという内容の手紙を読んで終わる。 |

(3) 板書計画



(4) 教材分析図

教材名 「モムンとヘーテ」 (「ゆたかなこころ 新しい道徳2」 光文書院)

ねらい モムンとヘーテの友達としての高まりに共感させ、自分達がかもって友達と仲よしになるには、何が大切かを考えることを通して、けんかをしてても友達はお互いを大切に思ったり、助け合ったりすることでさらに友情が深まるということに気付き、自分もそのような友達でありたいという心情を育てる。

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| 場面 | 栗の実をヘーテに独占されるモムン | 大雨の中、木の根本で身をよせる2人 | 荷物を捨てて一緒に皮の舟で逃げる2人 |
| 状況 | <ul style="list-style-type: none"> 栗を2人で運んで、中の実を取り出した。 「栗の実は、ぼくが全部もらおう。」とヘーテが言った。 仕方なく、モムンは皮を家に運んだ。 | <ul style="list-style-type: none"> 木の根本に皮の舟をつけたモムン。 ヘーテも泳いで木の根本に上がる。 ヘーテが謝り、逃げるようにすすめる。 モムンは、黙っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 「一緒に逃げよう。」「荷物は捨てる。」と言うモムン。 ヘーテを栗の皮に乗せて、一緒に木の根本を離れて行く。 |
| 登場人物の心の動き | <pre> graph TD A[栗の実を2人で分けよう。] --> B[ヘーテはひどい。もう友達ではない。] B --> C[今さら謝ったって、許せない。今さら口もききたくない。] C --> D[どうしよう。] D --> E[ヘーテが大切だ。] E --> F[これからも、ずっと仲よしだ。] </pre> | | |